

苦しい日は短い

亜細亜友之会外語学院

大学院進学Bクラス：閔東昕

私の経験は比較的特殊で、高校や大学を卒業後に日本留学するのではなく、大学（211）を卒業して数年間働いた後に日本に来たことです。そして JLPT の成績発表後に受験することを決めていました。亜細亜友之会外語学院の先生方の熱心な指導の下、まず JLPT の N1 試験に合格しました。その後、東北大学の修士課程に合格しました。卒業文集の執筆に参加させていただけることを光栄に思います。私の経験が、私の後に続く人々、特に私のような社会人経験学生に少しでも役に立つことを願っています。

JLPT 試験対策について

2022 年 10 月に日本に来てから、ひらがな、片仮名さえ区別できなかった私は日本語での授業に対して非常に苦労しました。桑久保先生、福田先生、日比先生、岡原先生の忍耐強い指導のおかげで、私は授業のペースに慣れることができ、基礎クラスのコースを順調に修了することができました。

より良い仕事や進学のお機会を得るために、私は 2023 年 7 月の N1 試験に申し込みました。JLPT はスケールスコア方式を採用しており、これは「強者には得点を与え、弱者には得点を圧迫する」評価方法です。誤答率が高い問題は、間違えても減点が少ないかゼロである一方、誤答率が低い問題は、間違えると多くの減点があります。これに基づいて、私は勉強計画を立て、リスニングと言語知識を重視して基礎問題を間違えないようにし、リーディングでは全問正解を目指しました。

N1 の過去問題を使ってトレーニングを行った後、私はリスニング 27 点、言語知識 31 点、リーディング 52 点の成績で何とか N1 試験に合格しました。時間に余裕があれば、私はこのような勉強方法を取らなかったでしょう。リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの全てをバランスよく伸ばすことが正しい道です。

大学院受験対策について

N1 試験を受けた後、自分の学習状態は良好だと感じました。好きな学問分野を見つけたため、就職ではなく受験することを決めました。私が受験したのは計算社会科学で、方向性は社会科学への機械学習の応用でした。私は師範大学の文学部を卒業しましたが、それは大きな飛躍と言えるでしょう。合格の可能性はほとんどありませんでした。しかし、今

後十分な熱意を持つことは難しいと感じ、「人生でこれが唯一のチャンスだ」と考えて大学院受験の準備を始めました。

心の状態に関しては、私は「小红书」をアンインストールし、オフラインでも進学について話題を避けるようにしました。私の受験は他の人よりもはるかに遅く、他の人の合格や不合格に関連する喜びや悲しみに接することが続くと、私は非常に不安になります。

学習環境に関しては、学校の自習室以外にも、北区中央図書館や国立国会図書館にも行きました。欧陽修はどんな場所でも文章を書くことができますが、私の意志力は欧陽修ほど強くありません。自宅では勉強が進まないため、図書館や自習室の雰囲気は比較的良好なため、基本的には閉館までいました。

専門知識に関しては、専門書や論文、公開講座、過去問題、オープンソースのコードを使って自習しました。時々、友人や同級生に質問をしてもらい、疑問を解決してもらいました。同級生である楊爽さんと陳錦暉さんに数学の指導をしていただいたことに感謝します。重要なポイントに出会った場合、関連する日本語論文と英語論文を見つけて読みました。筆記試験の2つの論文問題では、日本語の論文は以前に原文を読んだことがあり、英語の論文は関連する論文を読んだことがあるため、これらの問題にはまあまあ結果を出すことができました。私の独学の道はかなり困難で苦しいものでした。経済的に余裕のある学生は専門の指導を受けることをおすすめします。

研究計画書に関しては、まず興味に基づいて大まかな方向性を選び、その後、自習の状況に基づいて具体的な方向性を確定しました。理解できない知識は、絶対に計画書に書きません。日本語で一節書くたびに、翻訳ソフトの「日→中」で表現を確認しました。全体を書き終えた後に、中国語に翻訳し、修士または博士の学位を持つ学生や友人に助言を求めました。私は日本語を学んだのはまだ長くありませんし、文章はまだ非常に硬い状態でした。計画書の作成にあたり助けて頂いた大澤先生、宮原先生、そして熊賽さん、卒業生の余中原さんには、とても感謝しています。

面接に関しては、「フェイマン学習法」を主に使用しました。私は日本語で計画書のコンピュータ知識をコンピュータ専門外の2人の先生に説明し、2人の先生から口頭表現の問題点を指摘してもらいました。ここで、宮原先生と岩崎先生には、協力とご指導をいただきました。面接で練習した知識はすべて質問されました。ただし、当時は緊張しすぎて、とても口ごもった答えになりました。時間があれば、先生にストレス面接の練習をお願いしたほうがいいです。

生活について

会話が上手ではないので、病気の時に医者に診てもらおう勇気がありませんでした。臧先生と申先生には医療面での助けをいただいたことに感謝します。また、于昊玄さん、袁一星さん、王博洋さん、潘思彤さんには生活面で助けて頂き、特に感謝します。会話のトレーニングと経済的な負担の軽減のため、石川先生のアドバイスでアルバイトを見つけました。しかし、アルバイトは試験の進捗に大きな影響を与えるため、試験まで3ヶ月を切った時点でアルバイトを辞めました。時間が十分あれば、もう少し流暢に話せるようになるために、しばらくアルバイトをしたいと思います。

時間について

合格発表日がちょうど私の旧暦の誕生日であり感激しました。「唯見月寒日暖、来煎人寿」という言葉が浮かびます。高校の同級生が博士号を取得し、いところちが子供を育てる中、私は専攻を変えて再び学校に戻りました。人にはそれぞれの時間のリズムがあると言われていますが、そのリズムの違いが自分自身に現れて、驚きと戸惑いを感じます。

私の時間が不足したのは、ビザが1年半しかないことでした。根本的な原因は日本に来る前に計画や準備をしっかりとしていなかったことです。皆さんには私の教訓を生かしていただき、私のようにならないことを願っています。

最後に、亜細亜友之会外語学院の先生方、私を助けてくれた同級生や友人、そして私を支えてくれた両親に心から感謝します。

皆さん、ありがとうございました！

2024年3月